

意見書案第6号

平成26年 9月24日

白老町議会

議長 山本浩平様

提出者

白老町議会議員 大淵紀夫

賛成者

白老町議会議員 吉田和子

白老町議会議員 小西秀延

電力料金再値上げの撤回を求める意見書（案）

標記の意見書を別紙のとおり、白老町議会会議規則第8条の規定により提出いたします。

電力料金再値上げの撤回を求める意見書（案）

北海道電力は7月31日に電気料金値上げの認可を国に申請した。

今回の値上げ案は、国の認可が必要な家庭向けの平均が17.03%。国の認可が不要な企業向けの平均が22.61%で、どちらも昨年9月の値上げの2倍を超える大幅なものである。

標準的家庭（契約電流30アンペア、電力使用量260キロワットアワー）では、1カ月1,069円、14.78%上がって、月額8,302円となる。家庭向けも企業向けも、道民の暮らしと営業に重大な影響を及ぼすことは明らかである。

今回の再値上げに関しては、「節電はもう限界」、「もっと経営努力を示してほしい」と、道民はもとより経済界・道内自治体からも、厳しい批判の声が上がっている。

北電は値上げ理由を、泊原発の再稼働の遅れ、電力供給の8割を依存する火力発電の燃料費が急増したためとしている。

今回の再値上げ案の発表を前に、国（経産省）からは一層の経営努力による経費圧縮を求める要請があったと報道されている。しかし、北電は求められたような経営努力を行わず、社長ら重役陣の人件費も削減せずに、もっぱら道民に負担増を押しつける内容である。

多くの道民の声に応えた安全な「再生可能な自然エネルギー」活用に向けて転換を図るべきである。

よって北電が電力料金の再値上げ認可申請を撤回することを求めること、国や道が認可申請に対して厳しい態度で臨み、認可しないことを求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年 9月 日

北海道白老郡白老町議会議長 山本浩平

（提出先）内閣総理大臣、経済産業大臣、北海道知事、道議会議長